

イギリスDAY

開催しました

12月6日(土) 交流ひろばにてイギリスDAYが開催され、小学生3名を含む29名の方が参加しました。山形県国際交流員のダニエル ブルックスさんより、イギリスの地理・気候、国旗や国の体制、多文化社会のイギリスから見た日本などの話を聞きました



まずはイギリスの地理や気候についての話から。日本から見るとイギリスはヨーロッパの中のひとつの国と映りますが、イギリス人は他のヨーロッパの国々とは違うと思っており、国境の感覚も他の国と違うそう。ユーロを使っていない一因もそこにあるようです。気候について山形と比較し、イギリスは山形ほど四季で大きな変化がありませんし、こんなに雪も降りません。ただ、1日の中で天気がよく変わり、特徴的なのは日照時間が短いことです。だから晴れの時間がとても貴重。太陽が見えると「BBQをしよう!」と思うそうで、いつその時がきてもいいように常にBBQの準備は万端だそうです(笑)

紅茶とショートブレッド、ビスケットを用意。アフタヌーンティーを楽しみながらの和やかな雰囲気となりました。「紅茶にビスケットをつけて食べるのがイギリス流ですよ。」とダニエルさん。

イギリス料理はあまり美味しくない・・・と言われますが「そんなことはないですよ!おばあちゃんが作る料理は最高!」だそうです。毎週日曜日には家族が集まって「サンデーランチ」を楽しむんだそう。よく食べるのはローストビーフとポテト。フランス人は皮肉でイギリス人のことを「ローストビーフ」と呼んだりするそうです。



移民が多く様々な人種が集まるイギリスでは「外見で判断しないことが重要です。」とダニエルさん。スコットランドの独立住民投票に触れた際には、色々な立場と考え方を理解した上で「安定とお互いの理解が大事だと思う。」と語ったのが印象的でした。参加者は日本では普段あまり意識しない多文化社会について考えるいい時間となったようです。



～イギリスから見た日本との共通点と相違点～ ご自身が体験された話はとても興味深かったです

【共通点】

お茶文化…イギリスと言えば紅茶というくらいなくてはならないもの。「You are my cup of tea.」と好きな相手に言ったりするそうです。おしゃれですね。

庭…イングリッシュガーデンは有名ですが、ダニエルさんにとってはあたり前なのでイギリスを出るまでは特別だと気づかなかったそうです。

マナー…日本人が「ありがとう」「すみません」とよく言うようにイギリス人も「Thank you」「Please」をよく言うそうです。相手に対し指摘する時も「Do you think that's good idea?」(それはいいと思うの?)とソフトに聞いたりするそうです。

【相違点】

マスク…日本に来てマスクをしている人の多さに驚いたそう。イギリスでマスクをしているのは医者か本当に重病の人だけ。普通の店ではマスクは買えません。

FAX…イギリスでは20年前から使っていない。先進国の日本でまだ普通に使うことにビックリ。

ATM…機械なのに手数料や営業時間が限られているのがおかしい。イギリスでは手数料はかからないそうです。

残業…イギリスでは時間じゃなく成果が大事。残業していると家に帰りにたくないのかな?と思われてしまいます。

内祝い…プレゼントを返すのは変な感じ。出産祝いを同僚にあげたら内祝いもらった。自分にお金を使うのではなく赤ちゃんのために使ってもらったのに・・・と思ったそうです。